

令和 6 年度 第 1 回生駒市社会教育委員会議録（要約筆記）

1 日 時 令和 6 年 7 月 10 日（水） 午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分

2 場 所 生駒市役所 4 階大会議室

3 出席者

（委 員）岩本博子委員・浦林直子委員・大野與志子委員・岡島保弘委員・岡本純子委員・
上武敏一委員・坂本剛伸委員・清水泰之委員・白井一三委員・松木厚子委員・
連靖和委員

（事務局）原井教育長・坂谷生涯学習部長・井川生涯学習課長・
綾野生涯学習課専門官・福田生涯学習課主幹・
西野図書館長・中川図書館南分館長・谷江図書館北分館長・入井駅前図書室長・
西スポーツ振興課長・大畑スポーツ振興課長補佐・平田主査

（欠席者）大谷裕美子委員（議長）・滝澤治生委員（副議長）・土本みさ子委員

（会議の公開・非公開）公開

（傍聴者）あり（1 名）

4 議事内容

（1）委員紹介

（2）議長、副議長の選出について

（3）令和 5 年度「社会教育基本方針及び重点目標」にかかる実績報告

（4）その他

（1）委員紹介

（2）議長、副議長の選出について

委員の交代により議長、副議長を新たに選出し、全会一致で大谷裕美子委員、生駒市校長会の滝澤治生委員に決定。

今回議長、副議長が欠席の為、清水泰之委員が進行を行った。

（3）令和 5 年度「社会教育基本方針及び重点目標」にかかる実績報告

■重点目標１～４に係る事業の実施内容について、各課より説明を行った。

- １「すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出」
- ２「人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり」
- ３「歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現」
- ４「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

■重点目標や事業についての質問や意見

浦林委員 ご説明ありがとうございました。多岐に渡るさまざまな事業を展開していただきまして、ありがとうございました。

３点、質問を含めてお話ししたいと思います。

まず学びの場の ischool が働き盛り世代、いこま寿大学は 62 歳以上の シニア世代を対象に今までやってきたとお聞きしていた。働き盛り世代は、老後の資金などのことに興味がないかと言えば、そうではないかも知れないです。はっきりと年齢で区切って分けるのではなく、令和 6 年度のところで「あらゆる世代が主体的に学び」とある生涯学習として考えた時に、いずれは市民大学というような形で色んな世代の方を対象にした方がいいかと希望しています。

それと、スポーツ振興課の方で、学校部活動の地域クラブへの移行ということですが、これは皆さん色んなところで工夫されていると思いますし、大変だなと思います。学校の先生の負担を減らし、学校に担当できる先生がいらっしゃらなくなったときの生徒さんたちのスポーツ参加機会の創出のため地域クラブに移行するということで、その中で心配なのが指導される方の質と言いますか、学校では先生と児童ということとよくわかったうえで指導されていますが、地域の方もほとんどが素晴らしい指導者の方だと思うのですが、そのあたりが心配だという声も聞こえてきますので、指導者の質の確保と規模について教えてほしいです。

もう一点は図書館です。多様な人のサードプレイスとしてよく色んな事業を展開してくださっていると思います。特に知的障がいの方のサポートということで館内整理日を使って安心して過ごせるいい場所として事業をしてくださっており、すべての方を対象にしてくださっているの嬉しく思います。

西スポーツ振興課長 学校部活動を地域移行するにあたって、指導者の質ということは私たちも常に危惧しております。現在は地域等の人材を確保している状態で、人材確保ができましたら研修会の開催を検討していきます。地域移行するクラブ数が一定数あるので、現時点では学校の教員の協力は必要と考えておりますが、最終的には先生方の負担軽減につながると思います。運営経費については、国からの実証事業の委託料と市の方でも予算の確保をしておりますが、これもいつまで続くかわかりませんので、ゆくゆくは受益者負担でお願いすることになるかと思えます。

白井委員 関連してですが、地域移行について生駒市も頑張っていただいておりますが、生駒のスポーツ協会としては、日本スポーツ協会の公認コーチ養成講習会等でまず競技の質の向上、指導者としての質の向上、パワハラ等でも騒がれていますのでそういったことについての講習、講習会等の受講費を補助して対応していきます。

西野図書館長 図書館での知的障がいの方に対する取り組みが口コミで伝わっているのかも知れませんが、色んな団体が時々図書館を利用されています。また、一般の利用者の方が自然に受け入れてくださっているのがうれしいです。生駒の取り組みは先進的だと思いますし、県や全国にも広めたいと思っているので機会があれば紹介しています。

岩本委員 ヤングケアラーひきこもりの相談など 10代の方が多いと思っていましたが、20代の方も多かったのに驚きました。校区外でのクラブ活動について、ケガした時など保険や補償はどうなっていますか。校区外にバスなどで行く費用は補助がでるのでしょうか。ふるさとミュージアムの出前授業は7校となっておりますが、小学校は市内に12校あるのに出前授業をされていない学校があるので、必ず出前授業をしてほしいと思っております。

井川生涯学習課長 ひきこもり不登校の数について補足で、10代の方の相談件数は185件ですが、ユースネットいこま以外に実際の相談数はもっとこれより多いと思われます。ふるさとミュージアムの出前授業に関しましては、ふるさとミュージアムの学芸員が歴史教育の一環として行っています。小学校の校長会にも働きかけをさせていただいたりして徐々に拡大しているところです。できるだけ多くの学校で利用していただけるような取り組みをしていきたいです。

西スポーツ振興課長 部活動を地域へ移行すると学校で加入している保険は適用外となりますので、地域移行したクラブ活動の保険は別で加入していただいています。就学援助を受けておられるご家庭への補助は、上限はありますが予算の確保はしております。

大野委員 いこま寿大学は62歳から入れると聞きますが、「寿」という言葉が年配の方が集まっているイメージがあるので、市民大学などというネーミングにして少し幅広くするとますます広がりができるのではないかと考えます。

井川生涯学習課長 いこま寿大学は62歳からとなっていますが、今はその年齢は働いている方も多いので、実際に入学される方の平均年齢は70代の方も多いです。内容もクラブ活動がメインになっていまして、高齢者の仲間づくり向きになっています。どんな形がいいのか市民大学というネーミングも含めて参考にして考えさせていただきたい。

今後の社会教育委員会議につきまして、昨年度に引き続いて、教育委員との意見交換の場を設けたいと考えておりますが、いかかでしょうか。

清水委員 昨年度開催して非常に良かったと思いますが、開催してほしいと思うのですが皆さんはいかがでしょう。よろしかったら拍手ください。

全委員 (拍手)

清水委員 ありがとうございます。その時には全員参加してください。

井川生涯学習課長 10月か11月を考えております。何かテーマのご提案がありましたら8月末までにお知らせください。

坂本委員 色んな説明を聞かせていただきました。例えば継続の事業であればどこを改善してどうなったのか、新規であればなぜこれを新規でやったのか、またどうなったかなどをコンパクトに説明していただいた方がわかりやすいと思います。持論ですが、いつでも学べる、学び直せる、こどもからシニアまでみんなが参加できるというのが縦につながって連続しているのが社会教育だと考えていただきたいです。

清水委員 私も同感です。教育大綱の第1次から第2次まで何が成果となって何が課題か、それをどうするかをもう少し教えてほしいと思います。継続性が大事ではないかと思っています。

岡島委員 我々世代から上の世代は絶対クラブに入らないとダメでした。クラブ活動も地域移

行になり、親にもどんどんきめこまやかな説明で情報提供していただいて、結果論ではなく本来の理想とのギャップを親が知らないという状況にならないようお願いします。

松木委員 自分のこどもも中学生です。こどもの部活の指導者は土日に関の学校からの先生が来ていただいているのですが、他の保護者の方とお話した時に地域移行に関しては、少し不安があるとおっしゃっています。先生と外部の地域からの方と2人の先生がいて、こどもがどっちの言うことを聞いたらいいのか迷うのではないかと。また中学生は成長過程なので、体の小さい子から大きい子までいて、過度な練習をすると身体を壊してしまって後に繋がらないのではないかと、とも思いますので、そのあたりも保護者がわかるように説明していただきたいというのが、今の保護者の意見です。

上武委員 第3次生駒市教育大綱についてですが、「自ら生存する力」「言葉を交わす力」「職業に就く力」「新しい価値を創造する力」「対立やジレンマを克服する力」「責任ある行動をとる力」などをつけていこうということで、商工会議所の立場として様々な取り組みをされているのが素晴らしいと思います。客観的で具体的に測定する評価がしにくいと思いますが、こういう力をつけた人材をどんどん作ってほしいなと思います。

連委員 学校に行きづらいこどもも多く、小学校を見ると、授業時間なのに廊下でじっとしている子、正門から学校に入れない子など見受けられる。そういう困っているこどもたちと保護者をどうやって救っていけるかを社会教育委員として考えていきたい。

清水委員 教育委員との意見交換会のテーマにもなるのではないのでしょうか。

岡本委員 子どもの本連絡会は図書館と一緒に活動させていただいています。図書館のリニューアルに向けて工夫して色んな事業をしておられます。その分、以前に比べて0歳からの乳幼児に対することが手薄になってきているように感じています。大人数のイベントも楽しいですし、個別でもいい。図書館が5館・室ありますので、出席する人がチョイスしやすいようなわかりやすい発信の仕方をしていただきたい。また皆が車を持っているわけではないので、移動手段も考えてあげてほしいと思います。

井川生涯学習課長 いろんなご意見をありがとうございました。説明の内容、進め方について

は改善していきたいと思います。

西野図書館長　赤ちゃんに対するサービスを軽減しているわけではありません。絵本の会を募集して応募が少なかったりするので、年齢をフリーにしてみなさんが参加できるように絵本の会に変えていたりして、同じことをずっと続けてもお互いに消耗するだけなので、その時その時で変えていきたいと思っています。逆に託児サービスをしてお母さんに読書の時間をプレゼントして楽しんでもらうこともやっており、効果的な方法を探っている状況です。お互いに理解してやっていけたらと思っていますので、また相談させてください。

(4) その他

- （第3次）生駒市教育大綱について
- 今後の会議日程の予定については後日メール予定（事務局より）

閉会